

検針票から見えるもの

原発の負の遺産処理に巨額の「請求書」

毎月届く電気使用量のお知らせ。請求金額は確認していただくけれど、詳しくは観ていないという方も多いのではないだろうか。今回は検針票について考えてみます。ご自宅に届いた請求明細を横断的に一緒に見て。

①契約種別について

少し見ただけですが、①「契約容量のご様子を見てください」。この表では40Aになっています。これは従量電灯Bという一般家庭向けの契約です。10～60Aまであります。他に従量A最

電気ご使用量のお知らせ 株式会社彩の国でんき

2021年10月分

請求金額	8,524 円
うち消費税等相当額	774 円

ご使用場所 埼玉県 埼玉県 埼玉県

地区番号 01 契約番号

供給地点特定番号

ご使用期間	2021年9月25日 から 2021年10月24日	契約種別	① 従量電灯B
検針月日	2021年10月28日	ご契約容量	40A
ご使用量	274 kWh	口座振替予定日	2021年11月22日
次回検針予定日	2021年11月30日		

電気料金等内訳

料金項目	金額
基本料金	1144.00 円
電力量料金	6460.44 円
・1段料金(～120kWh)	2385.60 円
・2段料金(120～300kWh)	4074.84 円
・3段料金(300kWh～)	0.00 円
電源コスト調整費	0.00 円
再エネ発電賦課金	920.64 円
電源コスト調整のお知らせ	金額(1kWhあたり)
10月(当月)分	0.00 円
	再エネ発電賦課金単価(1kWhあたり)
	3.36 円

大電流からA以下は従量電灯C電気製品の多い家庭、業務用型冷蔵庫などを使用する商店やVVAを単位とする。1kVAは10A(相三)

②電気料金の計算

次に、電気料金等内訳の表です。**電気料金計算＝基本料金＋電力量料金＋燃料費調整額(彩の国でんきは電源コスト調整額)＋再エネの賦課金**

電気料金の内訳

電気料金	発電料	
	託送料金	←家庭向け電気料金の30～40%程度(送配電部門の人員費や送配電設備に係る修繕費、原価消却費など)
	営業費	
	利潤	

少し詳しく見ていきます。

基本料金 10Aは286円を単位に、この倍数になっています。(40Aは2860円×4＝1144円)

電力量料金 3段階となっています。

第1段階 最初の120kWhまで、19.880円/kWh×120kWh＝2385.60円

第2段階 120kWhを超え、300kWhまで26.220円/kWh×120kWh＝3146.40円

第3段階 300kWhを超えると、東京電力は30.570円/kWh

「彩の国でんき」は、東京電力より1円安い29.570円/kWhです。

③燃料費調整額

②の段階でこの電力量料金の下に電源コスト調整額という項目があります。(東京電力は電力量料金燃料費調整額)

東京電力は火力発電で電力を調達しているため、燃料費調整額を設けています。これは1キロリットル当たりの平均燃料価格が44200円を基準に、調達価格の高低に応じて調整額が決められています。通常マイナズとなることが多いのですが、原油価格が高騰するこの調整額が上乗せされることとなります。

彩の国でんきは自然エネルギー電力を卸電力市場から調達しますが、再エネ・FIT電源の市場価格は毎日変動していますので、計画に対してコストが上回ったり下回ったりした分を実績に基づいて電気料金に反映します。

④再エネ発電促進賦課金

③の燃料費調整額の下にあります。2020年度は、2.980円/kWhでしたが、2021年度は、3.360円/kWhと増えています。

以上、基本料金、電力量料金、燃料費調整額、再エネ賦課金の合計が毎月の電気料金となっています。

⑤託送料金について

次に託送料金についてです。⑤にあります。請求金額には託送料金が含まれています。この託送料金は、使用量に平均単価を乗じて算定できます。その平均単価は9.430円/kWhとなっています。この表で計算すると、2404.65銭となり、電気料金の32%を占めます。

託送料金とは電気を運ぶための電線使用料のことです。 託送料金は、電気を送る際に小売電気事業者が利用する送配電網の利用料金として一般送配電事業者が設定するものであり、経済産業大臣の認可が必要です。新規参入する小売電気事業者だけではなく、既存の大手電力会社の小売部門が送配電部門における人件費、設備修繕費、減価償却費、固定資産税のほか、電源開発促進税、賠償負担金、廃炉内清化法負担金等が含まれます。

電気料金の3～4割を占めているといわれる託送料金に、原発事故の賠償負担金と廃炉費用を上乗せする仕組みが、2020年10月からはじまりました。本来、東京電力および原子力事業者が責任をとり負担すべき費用を需要家が負担する仕組みで大きな問題があります。

地球温暖化を防止し、原発に依存しない持続可能な社会の実現めざして

少し託送料金の中身を見ましよう。**【電源開発促進税】** 送電線の利用料に含まれ、需要家に課せられている税金です。この税が原発を推進する原動力になっているといわれています。この税を財源とする自治体への補助金は、「もろえるので発電所を誘致し、電力安定化に協力を」という趣旨にはかなりません。ですから火力発電や水力発電がある自治体にも一部配られています。自治体の中には手厚いのです。

通常の補助金に加え「原子力発電施設立地地域共生交付金」や「広報・安全等対策交付金」など様々な名目でお金が配られ、3200億円ほどの年間税収のうち、7割強が原発のある自治体に振り向けられています。1974年度の制度創設から数えると原発がらみで、自治体に配られたお金は総額9兆円にのぼります。

なぜ「電源開発促進税」が送電線の利用料に入っているのかといえば、自治体対策費は日本全体の利益になるという理屈で、国民全体が使う送電線の利用料への上乗せが認められているのです。

なお、汚染土をためておく中間貯蔵施設の建設・運営にも、この電源開発促進税は流用されています。

電力会社の段階では「販売電力1年間1kWhにつき0.375円」の税金が、需要家への請求額は「0.406円」に増えます。これは税金に税金を課しているためです。

この託送料金に、原発廃炉と賠償費が上乗せされています。

以上見てきたように、毎月の電気料金には電気を送るためにかかる費用「託送料金」が含まれていることは、多くの方が認識されていますが、この託送料金に原発廃炉と賠償費が2020年10月から電気料金に上乗せされています。

なぜこんなことがまかり通るのでしょうか。

過去分として入れ込む

2016年の経産省の有識者会議の議事録では、電力会社は事故時の賠償費用として原発一か所あたり1200億円を備えているものの、福島第一原発事故で全く足りないことがわかり、1966年、電力会社による商用原発が稼働して以降、つまり「過去分」

各国の2030年の自然エネルギー電力目標 (%)

国	目標	実績(2018年)
スペイン	74	38
ドイツ	65	38
フランス	40	20
EU	57	35
中国	35	27
日本(～24)		18

「自然エネルギー世界白書」2020年版による

ていることはご存知でしょうか。

賠償負担金

原子力災害からの福島復興の加速のための基本指針(2016年12月閣議決定)に基づき、福島第一原発事故以前から原子力損害の賠償のために備えておくべきであった総額2.4兆円を40年程度で回収するため、電気料金託送料金の一部として需要家から受け取ることになりました。

一般の商取引でSUNNY

東京電力の場合、1kWh当たりの両負担金は、0.11円、これに月々の電気使用量を掛けます。250kWh使う家庭は、月27.5円、年間330円になります。

みんなて広く使用される薄く負担するから安く見えるだけで、賠償負担金を見て月600億円、40年間で2兆4千億円を回収する計画なのです。 一般の商取引で過去分の料金を取りはべれたからと言って回収する

廃炉内清化法負担金

エネルギー基本計画(2018年7月閣議決定)で示されている原発依存度の低減というエネルギー政策の基本方針のもと、円滑な廃炉を促すために原子力発電所の廃炉に伴って一括して生じる費用を分割計上する費用として、電気料金(託送料金)の一部として需要家から受け取ることになりました。

などありえない話です。安全神話で国民をあざむいておきながら、まともに備えてこなかった責任を棚上げして取り上げるといっては、まともな企業倫理とは思えないことです。

政府は福島第一原発事故にかかる費用は、廃炉、汚染水、賠償、除染、中間貯蔵で計2.1兆5千億円と見積もっていますが、解体作業で発生する放射性廃棄物の量などで想定を上回ることは確実といわれています。

原発事業者が費用を捻出できなくなるたびに託送料金で回収するとなれば、過失のない国民にツケを次々と押しつけることとなります。

再エネ発電賦課金が、太陽光など再エネの費用として金額が明記されているのと大違いで、原発のための需要家の負担合計がいくらかわりにくく、いつの間にか負担額は増えても分からないことが大きな問題です。 こうした情報公開を求めていくことが大切になっています。

地球温暖化を防止し、原発に依存しない持続可能な社会の実現めざして

毎月届く電気使用量のお知らせ。請求金額は確認していただくけれど、詳しくは観ていないという方も多いのではないだろうか。今回は検針票について考えてみます。ご自宅に届いた請求明細を横断的に一緒に見て。

少し詳しく見ていきます。